

令和7年1月13日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

春の永代経法要・釈迦涅槃会法要ご案内

寒い日が続きますが、皆様方にはお変わりなくご健勝のことと存じます。

さて、下記の通り標記のご法要が勤修されます。永代経法要は、お互いの身近な先祖様を、そしてお釈迦様を菩提寺に於いて一同に集い、永代にご法要を勤修いたすものです。私たち門信徒にとって、欠かすことのできない大切なご法要です。仏様のお慈悲に遭い、肉親・知人の弔いをする中で、仏様のお話を聞かせて戴きましょう。

尚、感染症対策として、参拝の際はマスク・手指消毒を推奨いたします。宜しく願い致します。

記

- 1.と き 令和7年2月15日（土）午後1時から
- 2.おつとめ 無量寿経作法
- 3.ご講師 藤 清道 先生（東隅組 願成寺馬立出張所）
- 4.おとき ご参詣の皆様，ご仏飯ですので全員お受けください。
- 5.その他 ご先祖様（還浄された方）個々に永代経懇志をいたすことにより，永代に亡き方にご供養しましょう。

◇ “月のことば”を配布します。

◇ 法要前の掃除・準備を法要当日 2月15日 8時より行います。お手伝い頂ける方は、よろしくお願ひします。お聴聞させて頂くみなでご法要を作りましょう。

◇ 春の彼岸法要の予告：3月22日（土）午後1時から。

ご講師：葦原 理江 先生（葦北 覚応寺）

伝道 現代文「歎異抄」に学ぶ親鸞の教え 田中教照 から抜粋

『教行信証』の総序の文で親鸞聖人が「完全で最高の徳をもつ名号（南無阿弥陀仏）は私たちの悪を徳に変える智慧のはたらきそのもの」（円融至徳の嘉号は悪を転じて徳を成す正智）といているように、また、蓮如上人が名号は「功德利益の廣大なること、さらに極まりなきものなり」と、指摘するように、南無阿弥陀仏にはとてつもないはたらきがあることについてはっきり自覚しておかないといけないのではないかと思っています。

祈願祈禱する気持は分かるけれども、祈願祈禱すれば何とかなるのではと、淡い期待を持っていると、実際にそうならなかったときにどうするのかという対処が何も出ていない、ということになるのではないのでしょうか。

浄土真宗では事故を起こさないようにという願望だけで終わるのではなくて、それが起こったときにもどうするかということ、この広大な功德とご利益とをそなえたお名号をよりどころにして考えることができるということを重視しているから、祈願祈禱さえも必要ないというのです。日ごろから、お名号をいただいていけば、阿弥陀仏様が私たちを護り、救おうとくださっていることが実感されます。そうすると、困ったときにも阿弥陀仏様が寄り添ってくれる、支えてくださる。これが本当のご利益だと思えるのです。

どんな出来事に遭遇しても、お名号、南無阿弥陀仏の功德、ご利益をとおして阿弥陀仏様のお力をいただいて、それに励まされ、導かれることが一番のお守りだと考えるのです。ですから、これほどのお守りは他のお守りにはない、と。



弥陀の本願信ずべし
攝取不捨の利益にて

本願信ずるひとはみな
無上覺をばさとるなり

現代語訳：阿弥陀如来の本願を信じましょう。本願を信じる人はみんな、必ず救う決して捨てないという「攝取不捨」の誓いのおり、浄土に往生して、如来と同じく、この上ないさとりをさとらせていただきます。 (正像末和讃)